

企001	項目名	若者定住促進事業費
------	-----	-----------

主要な施策	総合企画費	ページ	24
-------	-------	-----	----

所属名	企画推進部 企画調整課
-----	----------------

年度	H25
----	-----

会計名	一般会計
款	総務費
項	総務管理費
目	企画費

(単位:千円)	
当初予算額	4,034

補正予算額	△ 986
-------	-------

予算流・充用額	0
---------	---

最終予算額	3,048
-------	-------

本年度決算額	2,685
--------	-------

区分	決算額
財源内訳	
国・県支出金	847
地方債	0
その他	0
一般財源	1,838
計	2,685

その他財源の内訳	
分担金	0
負担金	0
使用料	0
手数料	0
財産収入	0
寄付金	0
繰入金	0
諸収入	0
その他	0

<p>事業の概要</p> <p>【問合せ先】戦略行政・大学係 0857-20-3153 【9次総の施策体系】1101、4204</p> <p>【予算計上の経過】 予算事業別概要目次 当初予算・P34(企001)</p> <p>【事業の概要】 ①出会いの場の設置開催や、話し方やマナーの向上、結婚に関する一般的な知識習得のための研修など、結婚を希望する者への支援事業 ②若者が主体的に行う、若者のためのイベント、交流活動、情報発信などの活動への支援事業</p> <p>【事業の成果】 ①若者を対象とした「婚活」事業の実施を支援することで、結婚による若者定住を促進し、地域の人口増加を図った。 平成22年度 937千円(5事業者) ※上限20万円 平成23年度 997千円(7事業者) ※上限20万円 平成24年度 892千円(9事業者) ※上限20万円 平成25年度 559千円(5事業者) ※上限20万円 ②若者を対象としたイベント・情報提供などの実施を促進することで、地域への愛着を持ち、定住する若者世代を増やしていくことを図った。 平成23年度 2,845千円(6事業者) ※上限100万円 平成24年度 3,000千円(6事業者) ※上限100万円 平成25年度 2,096千円(7事業者) ※上限100万円</p> <p>【今後の課題・方向性】 人口減少が始まり、高齢化が進展している中、鳥取市が将来にわたってにぎわいのある都市として発展・継続していくためには、若者が活力を持って活躍するための条件整備が必要である。</p>

(参考)	
前年度決算額	3,892

評価結果	人口減少対策の一環である若者定住を促進する上で重要な取組である。継続的な事業実施により、若者参加者の増加ひいては若者の定住につなげていく。今後は、本市の若者はもとより、域外の若者との交流人口の増加も視野に入れて取組んでいくこととする。また、若者の地元への愛着心を醸成しながら主体的な取組に支援することで、若者同士の交流を産み出し、地域経済の活性化にもつなげていく。
------	--

企002	項目名	若者会議事業費
------	-----	---------

主要な施策	総合企画費	ページ	24	所属名
-------	-------	-----	----	-----

年度	H25
----	-----

会計名	
一般会計	
款	総務費
項	総務管理費
目	企画費

(単位:千円)	
当初予算額	1,520

補正予算額	△ 331
-------	-------

予算流・充用額	△ 12
---------	------

最終予算額	1,177
-------	-------

本年度決算額	813
--------	-----

区分	決算額	
財源内訳	国・県支出金	371
	地方債	0
	その他	0
	一般財源	442
計	813	

その他財源の内訳	
分担金	0
負担金	0
使用料	0
手数料	0
財産収入	0
寄付金	0
繰入金	0
諸収入	0
その他	0

事業の概要

【問合せ先】戦略行政・大学係 0857-20-3153

【9次総の施策体系】2101

【予算計上の経過】
 予算事業別概要目次
 当初予算・P34 (企002)

【事業の概要】
 少子高齢化や地方分権の進展の中で、自立したにぎわいのある都市として一層の発展を目指すために、若者との協働のまちづくりを目指し、「若者会議」を設置した。
 鳥取市に住む若い方々に、本市の現状を学びながら次代のまちづくりを共に考えていただき、それらに対する意見・提言を市政に反映させるとともに、積極的にまちづくり活動に取り組む実践チームとして活動していただき、協働のまちづくりを進めていく。また、併せて新時代の本市のリーダーとなる人材の輩出を目指す。

- 対象者 若者(原則:18歳以上 30歳まで)
- 委員構成 経済界、大学等からの推薦メンバーと公募メンバーで構成
- 任期 2年以内(再任可)
- 会議の開始時期 第4期 平成24年6月
- 活動拠点 ・文化センター内若者交流スペース
- 活動内容 ・グループ会議(月1回程度)
 ・若者議会の実施(平成26年1月25日)
 ・最終報告会の実施(平成26年3月15日)

【事業の成果】
 H23年度 811千円 メンバー 24名(第3期)
 H24年度 630千円 メンバー 22名(第4期)
 H25年度 831千円 メンバー 22名(第4期)

【今後の課題・方向性】
 第5期若者会議新体制での活動推進

(参考)

前年度決算額	630
--------	-----

評価結果	市政への参画意識が低いと言われる若者の市政への参画を促す意味で初期の目的を達しつつある。若者のリーダー養成、活動を促進する一定の役割を果たした時点で、OB等との交流の拡大など、新たな展開を検討する必要がある。
------	--

企画推進部
 企画調整課

企003	項目名	ガイナーレ鳥取力向上事業費
------	-----	---------------

主要な施策	総合企画費	ページ	24	所属名
-------	-------	-----	----	-----

年度	H25
----	-----

会計名	
一般会計	
款	総務費
項	総務管理費
目	企画費

(単位:千円)	
当初予算額	12,958

補正予算額	△ 1,476
-------	---------

予算流・充用額	0
---------	---

最終予算額	11,482
-------	--------

本年度決算額	11,311
--------	--------

区分	決算額	
財源内訳	国・県支出金	0
	地方債	0
	その他	2,475
	一般財源	8,836
計	11,311	

その他財源の内訳	
分担金	0
負担金	0
使用料	0
手数料	0
財産収入	0
寄付金	0
繰入金	0
諸収入	2,475
その他	0

事業の概要

【問合せ先】戦略行政・大学係 0857-20-3153

【9次総の施策体系】4204

【予算計上の経過】
 予算事業別概要目次
 当初予算・P35(企003)

【事業の経過及び背景】
 ガイナーレ鳥取がJリーグに昇格し、本市では「ガイナーレ効果による鳥取力向上チーム」を発足させ、市民の応援機運の盛り上げやガイナーレ鳥取を最大限に活用した経済活性化や地域振興に取り組んでいる。また県外から訪れる多くのサポーターに対し、ホームタウンである鳥取市をPRし、交流人口の増加に努めている。

【事業の成果】
 ホームゲーム開催時の総合的な交通対策、鳥取市の情報発信、スタジアム内のおもてなし向上、市内での消費誘導などの活動を実施した。
 平成25年度観客動員数 86,033人
 平成24年度観客動員数 65,786人
 平成23年度観客動員数 70,152人

【今後の課題・方向性】
 ガイナーレ鳥取を活用して市内の誘客が図れるよう、ハード・ソフトツールを活用した観光、交通、地域振興等の取組を行う。
 併せてアウェイ都市へ出向き、本市のPRにより誘客に繋げる。

(参考)

前年度決算額	11,657
--------	--------

評価結果	鳥取で唯一のJリーグサッカーチームであるガイナーレ鳥取の観戦客の増加を目指し、アウェイサポーターへのおもてなし強化、交通対策の充実などガイナーレ効果を最大限に活用した地域の活性化を進める。
------	--

企画推進部 企画調整課

企004	項目名	若者のための鳥取塾事業費
------	-----	--------------

主要な施策	総合企画費	ページ	24	所属名
-------	-------	-----	----	-----

年度	H25
----	-----

会計名	
一般会計	
款	総務費
項	総務管理費
目	企画費

(単位:千円)	
当初予算額	4,385

補正予算額	0
-------	---

予算流・充用額	0
---------	---

最終予算額	4,385
-------	-------

本年度決算額	3,596
--------	-------

区分	決算額
財源内訳	
国・県支出金	0
地方債	0
その他	0
一般財源	3,596
計	3,596

その他財源の内訳	
分担金	0
負担金	0
使用料	0
手数料	0
財産収入	0
寄付金	0
繰入金	0
諸収入	0
その他	0

事業の概要

【問合せ先】戦略行政・大学係 0857-20-3153

【9次総の施策体系】2101

【予算計上の経過】
 予算事業別概要目次
 当初予算・P35 (企004)

【事業の概要】
 若者の政治離れを背景に、若者の市政や政治への関心を高めるため、新たな取組を始めることとしたもの。
 市政全般に係る様々な課題をテーマとして、多様な講師陣による連続講座を開催することにより、若者の市政への興味と郷土愛を醸成するとともに、次代を担う若者が市政や政治に関心を持ち、自らのまちをよりよく変えていこうとする意欲を持った若者を育成することを目的とした。
 ○中山間地域、中心市街地、観光、地域活性化、福祉、教育など、様々な分野で活躍する多様な講師陣により、若者向けの連続講座を開催（1期につき5回程度）
 ○6か月間（半年）を1期として塾生募集
 ○対象者は、概ね30代半ばぐらいまでの市内在住の社会人又は大学生
 ○実施スケジュール
 第1期：平成24年10月から平成25年3月まで
 第2期：平成25年4月から平成25年9月まで
 第3期：平成25年10月から平成26年3月まで

【事業の成果】
 平成24年度 2,871千円（第1期開催）
 平成25年度 4,385千円（第2期・第3期開催）

(参考)	
前年度決算額	2,871

評価結果	平成25年度までの事業であるが、今後も鳥取市若者会議において、鳥取塾の塾生やノウハウなども取り入れた運営を行っていく。
------	---

企画推進部
 企画調整課

企005	項目名	看護師等養成機関設置事業費
------	-----	---------------

主要な施策	総合企画費	ページ	24
-------	-------	-----	----

所属名	企画推進部 企画調整課
-----	----------------

年度	H25
----	-----

会計名	一般会計
款	総務費
項	総務管理費
目	企画費

(単位:千円)	
当初予算額	299

補正予算額	283,049
-------	---------

予算流・充用額	51
---------	----

最終予算額	283,399
-------	---------

本年度決算額	283,087
--------	---------

区分	決算額
財源内訳	
国・県支出金	0
地方債	0
その他	277,204
一般財源	5,883
計	283,087

その他財源の内訳	
分担金	0
負担金	0
使用料	0
手数料	0
財産収入	3,251
寄付金	0
繰入金	273,953
諸収入	0
その他	0

事業の概要

【問合せ先】戦略行政・大学係 0857-20-3153

【9次総の施策体系】3101

【予算計上の経過】
 予算事業別概要目次
 当初予算・P36（企005）、7月補正予算・P1（企001）
 12月補正予算・P10（企001）

【事業の概要】
 鳥取県東部圏域での看護師不足を背景に、看護・医療専門学校誘致についての陳情があり、その後、「看護師等養成所設置準備委員会」を設置し、学校法人大阪滋慶学園と誘致に向けた協議を進めることとなった。
 平成25年4月には、当該学校法人と（仮称）鳥取市医療看護専門学校の設置に関する基本協定を締結し、本市への看護・医療系専門学校の設置に向け、学校法人への支援をはじめとする一層の取組強化を確認し、平成26年6月28日に竣工した。
 現在、平成27年4月の開学を目指してオープンキャンパス等を実施している。

【事業の成果】
 平成24年度 368千円
 平成25年度 283,087千円
 ●主な事業内容
 ・学校用地の県からの取得、学校建設費等に対する補助
 ・鳥取駅前駐車場無料駐車機能の代替機能の運営委託

【今後の課題・方向性】
 鳥取市を中心とした鳥取県東部圏での看護師など医療系人材の不足を解消するとともに、若者定住による地域活力の創造を図るため、入学者の確保と地域連携を積極的に進める必要がある。

(参考)	
前年度決算額	368

評価結果	初期投資を支援することにより看護師等養成所を誘致したものであり、平成27年4月の学校開校に伴い、誘致業務は終了する。なお、学校開校後は、所管を保健医療福祉連携課に移管する予定である。
------	---

企006	項目名	清州市関連事業費
------	-----	----------

主要な施策	国際交流促進費	ページ	25
-------	---------	-----	----

所属名	企画推進部 企画調整課
-----	----------------

年度	H25
----	-----

事業の概要

会計名	一般会計
款	総務費
項	総務管理費
目	企画費

【問合せ先】都市交流係 0857-20-3154

【9次総の施策体系】5401

【予算計上の経過】
 予算事業別概要目次
 当初予算・P37（企007）

【事業の概要】
 本市と韓国・清州（チョンジュ）市とは平成2年に姉妹都市提携を結び、平成22年に提携20周年を迎えた。両市間では大学や女性団体、書道、語学学習団体などの交流事業が実施されるなど、活発な市民交流が続いている。

【事業の成果】
 平成25年に開催した「清州国際工芸ビエンナーレ」に鳥取市代表団を派遣し、両市の姉妹都市交流をより一層推進した。

○事業の内容・実績（過去3年）
 （内容）
 H23：姉妹都市提携20周年記念式典の開催（鳥取市）
 清州国際工芸ビエンナーレに鳥取市代表団および市民訪問団が参加（清州市）
 H25：清州市文化関係者と懇談（清州市）
 清州国際工芸ビエンナーレに鳥取市代表団参加および鳥取市ブースを出展（清州市）

【今後の課題・方向性】
 今後も継続していきたい。

(単位:千円)

当初予算額	650
補正予算額	△42
予算流・充用額	112

最終予算額	720
本年度決算額	664

その他財源の内訳	
分担金	0
負担金	0
使用料	0
手数料	0
財産収入	0
寄付金	0
繰入金	0
諸収入	0
その他	0

区分	決算額	
財源内訳	国・県支出金	0
	地方債	0
	その他	0
	一般財源	664
	計	664

(参考)

前年度決算額	0
--------	---

評価結果	姉妹都市交流事業として、今後も継続していきたい。
------	--------------------------

企007	項目名	市民国際交流推進事業費
------	-----	-------------

主要な施策	国際交流促進費	ページ	25	所属名
-------	---------	-----	----	-----

年度	H25
----	-----

会計名	
一般会計	
款	総務費
項	総務管理費
目	企画費

(単位:千円)	
当初予算額	1,850

補正予算額	△ 950
-------	-------

予算流・充用額	0
---------	---

最終予算額	900
-------	-----

本年度決算額	450
--------	-----

区分		決算額
財源内訳	国・県支出金	0
	地方債	0
	その他	149
	一般財源	301
計		450

その他財源の内訳	
分担金	0
負担金	0
使用料	0
手数料	0
財産収入	149
寄付金	0
繰入金	0
諸収入	0
その他	0

事業の概要

【問合せ先】都市交流係 0857-20-3154

【9次総の施策体系】5401

【予算計上の経過】
 予算事業別概要目次
 当初予算・P37 (企008)

【事業の概要】
 国際姉妹都市および交流都市などとの交流事業を行う民間団体に対し、予算の範囲内で補助金を交付する。

【事業の成果】
 市民が主体となって実施する本市の国際姉妹都市および交流都市との交流事業に対して補助金を交付し、幅広い草の根交流の裾野を広げ、交流の推進を図る。

【今後の課題・方向性】
 本市の国際姉妹都市および交流都市との交流を促進するため、市民が主体となって実施する相互交流事業を支援する。

(参考)	
前年度決算額	1,276

評価結果	本市の国際交流を推進するうえで、市民団体が主体となって実施する国際姉妹・交流都市との交流事業を支援していく。
------	--

企画推進部
 企画調整課

企008	項目名	環日本海拠点都市会議参加費
------	-----	---------------

主要な施策	環日本海拠点都市会議参加費	ページ	25	所属名
-------	---------------	-----	----	-----

年度	H25
----	-----

会計名	
一般会計	
款	総務費
項	総務管理費
目	企画費

(単位:千円)	
当初予算額	2,095

補正予算額	△ 843
-------	-------

予算流・充用額	△ 100
---------	-------

最終予算額	1,152
-------	-------

本年度決算額	1,151
--------	-------

区分	決算額	
財源内訳	国・県支出金	0
	地方債	0
	その他	0
	一般財源	1,151
計	1,151	

その他財源の内訳	
分担金	0
負担金	0
使用料	0
手数料	0
財産収入	0
寄付金	0
繰入金	0
諸収入	0
その他	0

事業の概要

【問合せ先】都市交流係 0857-20-3154

【9次総の施策体系】5401

【予算計上の経過】
 予算事業別概要目次
 当初予算・P38 (企010)

【事業の概要】
 環日本海地域の発展について地方の視点から話し合う「環日本海拠点都市会議」は、平成6年から開催されており、日本や中国、韓国、ロシアの4カ国・16の参加都市の首長が参加して意見交換を行っている。
 本市は平成21年度からは、正規会員都市として同会議に参加し、参加各都市との多分野での交流・連携を促進している。

【事業の成果】
 H25：第19回 ロシア・ウラジオストク市
 H24：第18回 韓国・束草（ソクチョ）市
 H23：第17回 日本・鳥取市（開催地）

【今後の課題・方向性】
 第20回環日本海拠点都市会議

【開催時期】平成26年8月
 【開催都市】中国・図們（トモン）市

(参考)

前年度決算額	1,953
--------	-------

評価結果	環日本海定期貨客船を有効に活用し、韓国、中国、ロシアの主要都市と連携を図りながら経済交流を一層展開していく必要がある。
------	---

企画推進部
 企画調整課

企009	項目名	環境大学運営費交付金
------	-----	------------

主要な施策	公立大学法人運営事業費	ページ	25	所属名
-------	-------------	-----	----	-----

年度	H25
----	-----

会計名	
一般会計	
款	総務費
項	総務管理費
目	企画費

(単位:千円)	
当初予算額	466,357

補正予算額	△ 3,950
-------	---------

予算流・充用額	0
---------	---

最終予算額	462,407
-------	---------

本年度決算額	448,311
--------	---------

区分	決算額
財源内訳	
国・県支出金	0
地方債	0
その他	0
一般財源	448,311
計	448,311

その他財源の内訳	
分担金	0
負担金	0
使用料	0
手数料	0
財産収入	0
寄付金	0
繰入金	0
諸収入	0
その他	0

事業の概要

【問合せ先】戦略行政・大学係 0857-20-3153

【9次総の施策体系】1102

【予算計上の経過】
 予算事業別概要目次
 当初予算・P39 (企012)

【事業の経過及び背景】
 鳥取県とともに共同設置した公立大学法人鳥取環境大学の運営経費の一部に充てるため、鳥取県と共同で大学運営費交付金及び大規模修繕等に係る施設整備費補助金を交付するものである。

【事業の効果】
 新生公立鳥取環境大学運営協議会を通じて大学の経営状態等をチェックし、必要な指示等を行うとともに、鳥取県とともに当該大学法人に対し公立大学の運営に係る地方交付税の範囲内で大学運営費交付金及び施設整備費補助金を交付し、公立大学法人鳥取環境大学の安定的な運営を確保した。

	運営費交付金	施設整備費補助金
平成24年度	396,702千円	9,317千円
平成25年度	417,493千円	30,818千円

【今後の方向性】
 公立大学法人鳥取環境大学に対して、大学運営費交付金及び施設整備費補助金を交付する。

(参考)	
前年度決算額	406,019

評価結果	平成26年度の入学者をもって学生数を定員充足した。今後も入学定員の確保、就職率の向上が課題である。
------	---

企画推進部
 企画調整課

企010	項目名	鳥取市地元大学等卒業生就職奨励金
------	-----	------------------

主要な施策	鳥取市地元大学等卒業生就職奨励金	ページ	24
-------	------------------	-----	----

所属名	企画推進部 企画調整課
-----	----------------

年度	H25
----	-----

事業の概要

会計名	
一般会計	
款	総務費
項	総務管理費
目	企画費

【問合せ先】戦略行政・大学係 0857-20-3153

【9次総の施策体系】4204

【予算計上の経過】
予算事業別概要目次
当初予算・P40（企013）

【事業の概要】
次に掲げる要件のいずれにも該当する者に対し、5万円の奨励金を交付する。
○鳥取環境大学、鳥取大学（医学部を含む。）又は私立専修学校（以下「地元大学等」という。）を卒業した日の属する年度の翌年度において、市内に本店又は支店を有する事業所（官公署を除く。）に継続的な形態で雇用された者（ただし、雇用契約期間は1年以上とする。）であって、当該事業所に引き続き6か月以上雇用されているもの
○地元大学等を卒業した日の属する年度の翌年度において、市内において自営業に従事した者であって、当該自営業に引き続き6か月以上従事しているもの
○住民基本台帳法の規定に基づき本市の住民票に記載されている者であること。
○過去に奨励金の交付を受けていないこと。
※平成25年3月卒業者を対象とする。

【事業の成果】
平成25年度：4,300千円（86人）

【今後の課題・方向性】
地元大学等卒業生の市内での雇用を促進するため、引き続き継続していく。

(単位:千円)

当初予算額	9,300
補正予算額	△2,500
予算流・充用額	0

最終予算額	6,800
-------	-------

その他財源の内訳	
分担金	0
負担金	0
使用料	0
手数料	0
財産収入	0
寄付金	0
繰入金	0
諸収入	0
その他	0

本年度決算額	4,300
--------	-------

区分	決算額	
財源内訳	国・県支出金	0
	地方債	0
	その他	0
	一般財源	4,300
計	4,300	

(参考)

前年度決算額	0
--------	---

評価結果	奨励金が地元就職への直接的な誘因となっているとは必ずしも言えないが、就職後の定住評価理由への間接的な効果は得られていると考えられる。
------	--

企011	項目名	学習・交流センター施設管理費
------	-----	----------------

主要な施策	学習・交流センター施設管理費	ページ	24	所属名
-------	----------------	-----	----	-----

年度	H25
----	-----

会計名	
一般会計	
款	総務費
項	総務管理費
目	企画費

(単位:千円)	
当初予算額	10,514

補正予算額	878
-------	-----

予算流・充用額	△ 9
---------	-----

最終予算額	11,383
-------	--------

本年度決算額	11,239
--------	--------

区分		決算額
財源内訳	国・県支出金	0
	地方債	0
	その他	0
	一般財源	11,239
計		11,239

その他財源の内訳	
分担金	0
負担金	0
使用料	0
手数料	0
財産収入	0
寄付金	0
繰入金	0
諸収入	0
その他	0

事業の概要

【問合せ先】国際交流プラザ 0857-31-3253

【9次総の施策体系】4204

【予算計上の経過】
 予算事業別概要目次
 当初予算・P40(企014)

【事業の概要】
 湖山西地区公民館と国際交流プラザとの複合施設である「学習・交流センター鳥取」の施設管理等
 (1) 補助職員等人件費
 (2) 施設管理委託(清掃作業、建物警備、設備保守点検など)
 (3) 光熱水費、事務経費(消耗品・修繕)等

【事業の成果】
 施設の全般的な維持管理等を行い、市民等がいつでも気軽に交流・学習等ができる場を提供した。
 国際交流プラザ年間利用状況
 平成23年度 4,498件 28,321人
 平成24年度 4,437件 25,616人
 平成25年度 4,108件 26,363人

【今後の課題・方向性】
 施設の全般的な維持管理等を行い、市民等がいつでも気軽に交流・学習等ができる場を提供していく。

(参考)	
前年度決算額	11,188

評価結果	今後とも施設の全般的な維持管理等を行い、市民等がいつでも気軽に交流・学習ができる場を提供していく必要がある。
------	--

企画調整課
国際交流プラザ

企012	項目名	人材誘致・定住促進対策事業費
------	-----	----------------

主要な施策	総合企画費	ページ	24
-------	-------	-----	----

所属名	企画推進部 中山間地域振興課
-----	-------------------

年度	H25
----	-----

事業の概要

会計名	一般会計
款	総務費
項	総務管理費
目	企画費

【問合せ先】中山間地域振興課 0857-20-3184

【9次総の施策体系】4204

【予算計上の経過】
 予算事業別概要目次
 当初予算・P41（企015）

【事業の概要】
 UJIターンに関する各種情報の収集・発信機能を強化するとともに、相談者にきめ細かに対応していくため、中山間地域振興課内に移住定住相談支援窓口を設置するとともに、首都圏・関西圏にそれぞれ1名ずつの相談員を配置し、市域外から鳥取市への移住定住を促進する。

【事業の成果】

	H23	H24	H25
1. 窓口対応延べ件数	1,220件	1,419件	1,211件
2. 窓口相談登録者数	396人	380人	383人
3. 窓口移住者数	107世帯237人	100世帯214人	160世帯288人
4. 決算額	8,411千円	9,258千円	10,071千円

【今後の課題・方向性】
 平成18年9月の相談支援窓口開設以来、平成25年度までに1,252人が移住定住するなど大きな成果を挙げている。今まで効果のあった事業を継続して展開するとともに、新たな施策の導入の可能性を検討しながらさらに推進していく。

(単位:千円)

当初予算額	12,731
補正予算額	△178
予算流・充用額	△7

最終予算額	12,546
-------	--------

その他財源の内訳	
分担金	0
負担金	0
使用料	0
手数料	0
財産収入	0
寄付金	0
繰入金	0
諸収入	0
その他	0

本年度決算額	10,071
--------	--------

区分	決算額	
財源内訳	国・県支出金	2,963
	地方債	0
	その他	0
	一般財源	7,108
計	10,071	

(参考)

前年度決算額	9,258
--------	-------

評価結果	本事業は、本市の移住定住施策を内外に強くアピールするとともに移住定住者増に大きな効果をあげており、今後も県移住定住推進交付金等有利な財源を最大限活用しながら継続して推進する。
------	---

企013	項目名	UJIターン住宅支援事業費
------	-----	---------------

主要な施策	総合企画費	ページ	24	所属名
-------	-------	-----	----	-----

年度	H25
----	-----

会計名	
一般会計	
款	総務費
項	総務管理費
目	企画費

(単位:千円)	
当初予算額	20,000

補正予算額	207
-------	-----

予算流・充用額	0
---------	---

最終予算額	20,207
-------	--------

本年度決算額	18,290
--------	--------

区分	決算額	
財源内訳	国・県支出金	14,721
	地方債	0
	その他	0
	一般財源	3,569
計	18,290	

その他財源の内訳	
分担金	0
負担金	0
使用料	0
手数料	0
財産収入	0
寄付金	0
繰入金	0
諸収入	0
その他	0

事業の概要

【問合せ先】中山間地域振興課 0857-20-3184

【9次総の施策体系】4204
 【予算計上の経過】
 予算事業別概要目次
 当初予算・P41(企016)、12月補正予算・P10(企002)

【事業の概要】
 本市内に定住する目的で住宅を新築・購入・改修する際に必要な費用の一部を助成することにより、UJIターン者の住生活の安定向上を図り定住者の増加、本市の活性化を促進する。
 ○補助率 5/100~30/100 補助金上限500~2,000千円
 (新築・購入・改修・上下水道接続を含む改修、定住人数等により決定)

【事業の成果】	H23	H24	H25
1. 新築件数	13件	11件	7件
2. 購入件数	4件	7件	9件
3. 改修件数	4件	8件	9件
4. 移住定住者数	21世帯43人	26世帯71人	25世帯61人
5. 補助金額	18,945千円	19,999千円	18,290千円

【今後の課題・方向性】
 移住定住者の誘致効果・施策アピール度の高い事業であり、有利な財源を確保しつつ、制度の整理拡充を図り、今後とも継続して推進する。

(参考)	
前年度決算額	19,999

評価結果	平成18年9月の相談窓口開設以降の移住定住者が595世帯、1,252人(平成25年度末)に到達している。内約4割の移住定住者が、本事業を適用している。本市の移住定住施策を内外に強くアピールするとともに移住定住者増に大きな効果をあげており、今後も県移住定住推進交付金等有利な財源を最大限活用しながら継続して推進する。
------	---

企014	項目名	過疎・中山間地域振興推進員設置事業費
------	-----	--------------------

主要な施策	地域振興対策費	ページ	25
-------	---------	-----	----

所属名	企画推進部 中山間地域振興課
-----	-------------------

年度	H25
----	-----

事業の概要

会計名	
一般会計	
款	総務費
項	総務管理費
目	企画費

【問合せ先】中山間地域振興課 0857-20-3184

【9次総の施策体系】2101

【予算計上の経過】
予算事業別概要目次
当初予算・P42（企017）

【事業の概要】
中山間地域の安全安心な暮らしを確保するとともに、賑わいづくりを推進するため、集落支援員制度（総務省）を活用して中山間地域振興推進員を設置し、小規模高齢化等集落における見守り活動や公助の在り方に関する調査・検討、集落等維持活性化に取り組む住民団体等の活動支援等に取り組む。

【事業の成果】

1. 小規模高齢化等集落見守り活動の実施	平成24年度	6集落
	平成25年度	8集落
2. 山間集落等における地域づくり活動支援		
3. 決算額	平成24年度	5,129千円
	平成25年度	5,232千円

【今後の課題・方向性】

1. 小規模集落見守り活動等を通じて把握した山間集落等の課題を解決するため、関係各課が連携して調査・研究する体制整備を図り、新たな施策立案に繋いでいく。
2. モデル地域を選定し、地域づくり活動支援の在り方について調査・研究を推進する。

(単位:千円)

当初予算額	5,846
補正予算額	△405
予算流・充用額	0

最終予算額	5,441
-------	-------

その他財源の内訳	
分担金	0
負担金	0
使用料	0
手数料	0
財産収入	0
寄付金	0
繰入金	0
諸収入	0
その他	0

本年度決算額	5,232
--------	-------

区分	決算額	
財源内訳	国・県支出金	0
	地方債	0
	その他	0
	一般財源	5,232
計	5,232	

(参考)

前年度決算額	5,129
--------	-------

評価結果	庁内中山間地域対策強化プロジェクトチームを中心とし、より効果的な集落対策を確立していくため、引き続き小規模高齢化等集落における見守り活動等の取り組みを推進する。
------	--

企015	項目名	里山交流促進モデル事業費
------	-----	--------------

主要な施策	地域振興対策費	ページ	25
-------	---------	-----	----

所属名	企画推進部 中山間地域振興課
-----	-------------------

年度	H25
----	-----

事業の概要

会計名	一般会計
款	総務費
項	総務管理費
目	企画費

【問合せ先】中山間地域振興課 0857-20-3184

【9次総の施策体系】2101

【予算計上の経過】
 予算事業別概要目次
 当初予算・P43（企019）

(単位:千円)

当初予算額	1,000
-------	-------

【事業の概要】
 中山間地域の住民等が主体的に実施する、自然・文化・特産品等を活用した都市住民等との交流活動を支援し、むらとまち双方の活性化を図る。
 (補助金交付) 補助率10/10、補助金上限10万円(支援期間は最大3年間)

補正予算額	△ 200
-------	-------

【事業の成果】
 平成23年度 9交流18団体 885千円
 平成24年度 8交流16団体 750千円
 平成25年度 6交流12団体 600千円

予算流・充用額	0
---------	---

【今後の課題・方向性】
 1. 支援期間(最長3年間)終了後も、引き続き交流活動が定着・拡大していくよう、継続した啓発・支援が重要である。
 2. 交流事例の的確な周知・共有に努め、多様な市民団体の活用を促進する。
 3. 類似事業の統合整理等を図るとともに関係部局が連携し指導・支援体制を強化する。

最終予算額	800
-------	-----

その他財源の内訳	
分担金	0
負担金	0
使用料	0
手数料	0
財産収入	0
寄付金	0
繰入金	0
諸収入	0
その他	0

本年度決算額	600
--------	-----

区分	決算額
財源内訳	
国・県支出金	191
地方債	0
その他	0
一般財源	409
計	600

(参考)

前年度決算額	750
--------	-----

評価結果 平成26年度から農作業体験等交流促進事業と統合し本事業に一本化するほか、より効果的な事業展開への支援強化を目的とする審査会制度を設け、交流活動の定着・継続発展を図る。

企016	項目名	輝く中山間地域創出モデル事業費
------	-----	-----------------

主要な施策	地域振興対策費	ページ	25	所属名
-------	---------	-----	----	-----

年度	H25
----	-----

会計名	
一般会計	
款	総務費
項	総務管理費
目	企画費

(単位:千円)	
当初予算額	18,100

補正予算額	△ 5,100
-------	---------

予算流・充用額	0
---------	---

最終予算額	13,000
-------	--------

本年度決算額	12,460
--------	--------

区分		決算額
財源内訳	国・県支出金	3,249
	地方債	1,200
	その他	1,009
	一般財源	7,002
計		12,460

その他財源の内訳	
分担金	0
負担金	0
使用料	0
手数料	0
財産収入	0
寄付金	0
繰入金	1,009
諸収入	0
その他	0

事業の概要

【問合せ先】中山間地域振興課 0857-20-3184

【9次総の施策体系】2101

【予算計上の経過】
 予算事業別概要目次
 当初予算・P43(企020)

【事業の概要】
 中山間地域の集落・地域の活性化に向け、地域住民等自ら行うモデル的な計画策定及び計画に基づき実施する各種ソフト事業を支援する。
 (補助金交付)計画策定分：補助率10/10、補助金上限10万円
 ソフト事業分：補助率8/10、補助金上限200万円

【事業の成果】
 協働のまちづくりを基本に地域住民自らが地域課題を掘り下げ、創意工夫を凝らして課題解決に向かう取り組みを実施している。
 平成23年度 計画策定16団体 ソフト事業15団体 12,548千円
 平成24年度 計画策定9団体 ソフト事業21団体 15,697千円
 平成25年度 計画策定11団体 ソフト事業12団体 12,460千円

【今後の課題・方向性】
 1. 事業効果をさらに高めるため、事業事例の的確な周知・共有に努めるとともに、総合支所・中山間地域振興推進員等による指導・支援体制の充実に留意しながら推進する。
 2. まちづくり協議会やブロック内連携等による取り組みを促し、各地域の活性化と全市の一体的振興の推進に寄与する。

(参考)	
前年度決算額	15,696

評価結果	事業実施団体等の指導・支援強化を目的とする審査会制度の導入や支援期間の延長等、制度内容の点検・改善を積極的に推進し、地域づくり活動の着実な定着と継続発展を図る。
------	--

企画推進部
中山間地域振興課

企017	項目名	過疎地域振興事業費
------	-----	-----------

主要な施策	地域振興対策費	ページ	25
-------	---------	-----	----

所属名	企画推進部 中山間地域振興課
-----	-------------------

年度	H25
----	-----

事業の概要

会計名	
一般会計	
款	総務費
項	総務管理費
目	企画費

【問合せ先】中山間地域振興課 0857-20-3184

【9次総の施策体系】2101

【予算計上の経過】
 予算事業別概要目次
 当初予算・P44（企021）

(単位:千円)

当初予算額	5,000
-------	-------

【事業の概要】
 人材養成講座「とっとりふるさと元気塾」を開設し、中山間地域の課題解決や活性化、特産品開発・むらとまちの交流等の実践者やリーダーの養成を図る。

補正予算額	0
-------	---

【事業の成果】	H23	H24	H25
○出前養成講座	3回	7回	5回
○全市公開講座	1回	2回	1回
○県外優良事例交流研修	1箇所	3箇所	3箇所
○実践活動フォロー支援	-	17件	24件
○決算額	2,520千円	4,997千円	4,977千円

予算流・充用額	0
---------	---

最終予算額	5,000
-------	-------

その他財源の内訳	
分担金	0
負担金	0
使用料	0
手数料	0
財産収入	0
寄付金	0
繰入金	0
諸収入	0
その他	0

本年度決算額	4,977
--------	-------

【今後の課題・方向性】
 人材養成事業として、塾生が個別の目標をもち習熟度をあげられる塾となるよう、年間カリキュラムの導入が求められる。また、本塾での学びを活かして取り組まれている地域づくり活動が着実に定着発展していくよう、実践活動フォロー支援を推進する。

区分		決算額
財源内訳	国・県支出金	0
	地方債	0
	その他	0
	一般財源	4,977
	計	4,977

(参考)

前年度決算額	4,997
--------	-------

評価結果	本塾での学びを活かした実践活動が各地で創出され発展継続していくよう、引き続き実践活動等フォロー支援を強化するとともに、地域ニーズに沿ったカリキュラム開発により塾生の習熟度向上を図る。
------	---

企018	項目名	中山間地域・買い物支援事業費
------	-----	----------------

主要な施策	地域振興対策費	ページ	25	所属名
-------	---------	-----	----	-----

年度	H25
----	-----

会計名	
一般会計	
款	総務費
項	総務管理費
目	企画費

(単位:千円)	
当初予算額	8,600

補正予算額	5,564
-------	-------

予算流・充用額	0
---------	---

最終予算額	14,164
-------	--------

本年度決算額	13,979
--------	--------

区分	決算額	
財源内訳	国・県支出金	6,989
	地方債	0
	その他	0
	一般財源	6,990
計	13,979	

その他財源の内訳	
分担金	0
負担金	0
使用料	0
手数料	0
財産収入	0
寄付金	0
繰入金	0
諸収入	0
その他	0

事業の概要

【問合せ先】中山間地域振興課 0857-20-3184

【9次総の施策体系】2101

【予算計上の経過】
 予算事業別概要目次
 当初予算・P45(企023)、12月補正予算・P11(企004)

【事業の概要】
 平成24年度に整備・拡充された鳥取県みんなで支え合う中山間地域づくり総合支援事業を活用し、移動販売車等による買い物支援の取り組みを開始しようとする者の起業・運営及び事業拡大を支援し、買い物困難地域における買い物環境の改善を推進する。
 (補助金交付)
 ・移動販売車等導入支援 補助率8/10 補助金上限800万円
 (広域事業の場合 補助率10/10)
 ・移動販売車運営支援 補助率8/10~1/3 補助金上限200~80万円(3年間逡減)
 (広域事業の場合 2年間延長 補助率1/6 補助金上限40万円)

【事業の成果】 導入支援 運営支援 補助金額
 平成24年度 1件(佐治地域) 1件(佐治地域) 3,022千円
 平成25年度 2件(西部地域) 3件(佐治、河原~明治・湖南、福部地域) 13,979千円

【今後の課題・方向性】
 少子高齢化の進行に伴い中山間地域における買い物環境改善の必要性は年々増大している。移動販売等の必要性・有効性等について周知・啓発を強化し、買い物困難地域の解消を速やかに推進していく。

(参考)	
前年度決算額	3,022

評価結果	中山間地域の買い物環境は引き続き悪化傾向にある。買い物環境改善と見守り活動等地域に不足するサービスを併せて確保できる事業であり、事業の確実な定着・継続に向け引き続き支援していくことが重要である。
------	---

企画推進部
中山間地域振興課

企019	項目名	中山間地域・地域資源活用型コミュニティビジネス支援事業費
------	-----	------------------------------

主要な施策	地域振興対策費	ページ	25	所属名
-------	---------	-----	----	-----

年度	H25
----	-----

会計名	一般会計
款	総務費
項	総務管理費
目	企画費

(単位:千円)	
当初予算額	210

補正予算額	5,034
-------	-------

予算流・充用額	0
---------	---

最終予算額	5,244
-------	-------

本年度決算額	4,298
--------	-------

区分	決算額
財源内訳	
国・県支出金	2,865
地方債	0
その他	0
一般財源	1,433
計	4,298

その他財源の内訳	
分担金	0
負担金	0
使用料	0
手数料	0
財産収入	0
寄付金	0
繰入金	0
諸収入	0
その他	0

事業の概要

【問合せ先】中山間地域振興課 0857-20-3184

【9次総の施策体系】2101

【予算計上の経過】
 予算事業別概要目次
 5月補正予算・P1（企001）、8月補正予算・P8（企001）、12月補正予算・P12（企005）

【事業の概要】
 平成24年度に整備・拡充された鳥取県みんなで支え合う中山間地域づくり総合支援事業を活用し、自然環境や歴史・文化等の地域資源や特性を活かし、地域課題の解決につながるコミュニティビジネスに取り組もうとする住民団体等の起業や事業拡大を支援し、活力と賑わいのある中山間地域づくりを推進する。
 （補助金交付）補助率1/2 補助金上限450万円
 （まちづくり協議会が実施する場合 補助率8/10）

【事業の成果】
 平成24年度 1件 ジビエ工房弥生の里拠点施設整備（青谷地域） 600千円
 平成25年度 2件 手づくり梨工房加工所整備（佐治地域）
 シシボタンの会冷蔵設備整備（鹿野地域） 4,298千円

【今後の課題・方向性】
 人材養成事業やグリーンツーリズム推進事業等と連携し、農林水産物など地元産物を活用した加工品づくりや農家民泊の起業等に対する指導支援体制の強化に努めながら、引き続き推進する。

(参考)

前年度決算額	600
--------	-----

評価結果	中山間地域の活性化を推進する上で、ビジネス手法を用いた地域づくり活動はたいへん有効である。住民団体等への周知・啓発、指導支援体制の充実に努めながら、引き続き推進していく。
------	---

企画推進部
中山間地域振興課

企020	項目名	鳥取市UJIターン若者就職奨励金
------	-----	------------------

主要な施策	鳥取市UJIターン若者就職奨励金	ページ	24	所属名
-------	------------------	-----	----	-----

年度	H25
----	-----

会計名	
一般会計	
款	総務費
項	総務管理費
目	企画費

(単位:千円)	
当初予算額	30,000

補正予算額	△ 20,000
-------	----------

予算流・充用額	0
---------	---

最終予算額	10,000
-------	--------

本年度決算額	7,600
--------	-------

区分		決算額
財源内訳	国・県支出金	0
	地方債	0
	その他	0
	一般財源	7,600
計		7,600

その他財源の内訳	
分担金	0
負担金	0
使用料	0
手数料	0
財産収入	0
寄付金	0
繰入金	0
諸収入	0
その他	0

事業の概要

【問合せ先】 中山間地域振興課 0857-20-3184

【9次総の施策体系】 4204

【予算計上の経過】
 予算事業別概要目次
 当初予算・P45 (企024)

【事業の概要】
 県外在住者が市内企業への就職のため本市に移住定住した際に奨励金を交付することにより、市内企業が求める人材の確保を図るとともに、本市への移住定住人口の増加を強力に推進する。
 (奨励金の交付)
 対象者に対し10万円(配偶者等と転入した場合は5万円/人を加算) 上限額20万円

【事業の実績】
 平成25年度 交付金額 7,600,000円 移住定住者数 59世帯107人

【今後の課題・方向性】
 移住定住希望者への周知徹底及びさらなる登録企業数の増加を図る。

(参考)	
前年度決算額	0

評価結果	平成18年9月の相談窓口開設以降の移住定住者が595世帯、1,252人(平成25年度末)に到達している。本市の移住定住施策を内外に強くアピールするとともに移住定住者増に大きな効果をあげている。
------	--

企画推進部
中山間地域振興課

企021	項目名	地域おこし協力隊設置事業費
------	-----	---------------

主要な施策	地域振興対策費	ページ	25
-------	---------	-----	----

所属名	企画推進部 中山間地域振興課
-----	-------------------

年度	H25
----	-----

事業の概要

会計名	一般会計
款	総務費
項	総務管理費
目	企画費

【問合せ先】中山間地域振興課 0857-20-3184

【9次総合の施策体系】2101

【予算上の経過】
 予算事業別概要目次
 12月補正予算・P12（企006）

(単位:千円)

当初予算額	0
-------	---

【事業の概要】
 全国の都市地域を対象として「地域おこし協力隊員」を募集するとともに、配置地域における隊員の受入環境整備を図る。
 (地域おこし協力隊)

補正予算額	267
-------	-----

三大都市圏等の居住者を隊員として受入れ、一定期間以上（1～3年間）農林漁業の応援や住民の生活支援などの地域協力活動に従事してもらいながら、当該地域への定住・定着を図る。

予算流・充用額	7
---------	---

【事業の成果】
 ○地域おこし協力隊の募集
 1. 配置地域等 佐治地域 4人
 2. 募集方法 チラシの製作・配布、募集説明会出展(東京都)、HP掲載など

最終予算額	274
-------	-----

その他財源の内訳	
分担金	0
負担金	0
使用料	0
手数料	0
財産収入	0
寄付金	0
繰入金	0
諸収入	0
その他	0

本年度決算額	261
--------	-----

【今後の課題・方向性】
 本市で初めての取り組みである。佐治地域での受入れ成果を活かして、各地域への隊員配置・活用を推進していく。

区分	決算額	
財源内訳	国・県支出金	0
	地方債	0
	その他	0
	一般財源	261
計	261	

(参考)

前年度決算額	0
--------	---

評価結果	地域おこし協力隊の配置目的や活動内容を地域が十分理解し、活動・生活全般に対して柔軟に支援・協力していくことが極めて重要である。都市地域に募集情報や本市魅力を積極的に発信するとともに、受入れ地域への周知・啓発をさらに推進する。
------	--

企022	項目名	グリーンツーリズム推進事業費
------	-----	----------------

主要な施策	特色あるまちづくり推進事業費	ページ	25	所属名
-------	----------------	-----	----	-----

年度	H25
----	-----

会計名	
一般会計	
款	総務費
項	総務管理費
目	企画費

(単位:千円)	
当初予算額	1,079

補正予算額	△ 60
-------	------

予算流・充用額	0
---------	---

最終予算額	1,019
-------	-------

本年度決算額	969
--------	-----

区分	決算額
財源内訳	
国・県支出金	38
地方債	0
その他	0
一般財源	931
計	969

その他財源の内訳	
分担金	0
負担金	0
使用料	0
手数料	0
財産収入	0
寄付金	0
繰入金	0
諸収入	0
その他	0

事業の概要

【問合せ先】中山間地域振興課 0857-20-3184

【9次総の施策体系】4204

【予算計上の経過】
 予算事業別概要目次
 当初予算・P46 (企025)

【事業の概要】
 豊かな自然や風景、地域ではぐくまれた特産物、固有の伝統芸能や文化財など、中山間地域の多彩な地域資源を活かし、都市住民との交流を行うグリーンツーリズムが各地で実施されている。これら、地域・集落単位等の取り組みを、全市並びに県東部一円で連携して推進する。

【事業の成果】

	H23	H24	H25
鳥取市グリーンツーリズム連絡会会員数	11団体	12団体	13団体
(会員簡易宿所開設 21棟)			
補助金額	846千円	120千円	120千円
○とっとり因幡グリーンツーリズム負担金	370千円	824千円	824千円
○武蔵野市家族自然体験交流事業	H23/20家族70人 786千円	H24/14家族40人 486千円	H25/隔年開催となり未実施

【今後の課題・方向性】
 グリーンツーリズム連絡会並びにとっとり因幡グリーンツーリズム推進協議会の会員増加を促進するとともに、魅力ある体験メニュー開発等への支援を強化し、教育旅行・体験観光等の受入拡大を図る。

(参考)	
前年度決算額	1,430

評価結果	ニューツーリズム志向は年々高まっているほか、近年ではその教育効果を求め、本市においても学童生活体験事業が積極的に拡大展開されている。農山村と都市部との交流機会をさらに拡大し、相互理解、一体的発展に寄与する事業として引き続き関係団体への支援を強化する。
------	---

企023	項目名	市報発刊配布費
------	-----	---------

主要な施策	広報紙発刊配布費	ページ	24	所属名
-------	----------	-----	----	-----

年度	H25
----	-----

会計名	
一般会計	
款	総務費
項	総務管理費
目	文書広報費

(単位:千円)	
当初予算額	59,513

補正予算額	△ 2,826
-------	---------

予算流・充用額	0
---------	---

最終予算額	56,687
-------	--------

本年度決算額	56,616
--------	--------

区分	決算額
財源内訳	
国・県支出金	4,085
地方債	0
その他	6
一般財源	52,525
計	56,616

その他財源の内訳	
分担金	0
負担金	0
使用料	0
手数料	0
財産収入	0
寄付金	0
繰入金	0
諸収入	6
その他	0

事業の概要

【問合せ先】 広報室 0857-20-3159
【9次総の施策体系】 5301
【予算計上の経過】
 予算事業別概要目次
 当初予算・P41 (企022)
【事業の概要】
 鳥取市の情報を市民にお知らせする「とっとり市報」及び「総合支所だより」を毎月1回発行。
 搬送業者が搬送業者が町内会の担当者宅へ届け、担当者が各世帯へ配布。
 ※町内会未加入者は、各公共施設、スーパー、コンビニ等の商業施設で入手可。
 本市公式ホームページに市報のPDF版、HTML版、電子書籍版(スマートフォンで閲覧可)を掲載。※支所だよりはPDF版のみ
【事業の成果】
 平成23年度
 発行部数…市報：68,500部 支所だより：16,000部(51,248千円)
 配布力所…鳥取地域：953カ所 新市域：325カ所(4,651千円)
 平成24年度
 発行部数…市報：67,500部 支所だより：16,000部(49,689千円)
 配布力所…鳥取地域：953カ所 新市域：325カ所(4,931千円)
 平成25年度
 発行部数…市報：67,500部 支所だより：16,000部(50,511千円)
 配布力所…鳥取地域：914カ所 新市域：340カ所 商業施設：60カ所(5,061千円)
 (印刷製本費・委託料のみ計上)
【今後の課題・方向性】
 商業施設等への設置を拡充し、市報が入手されやすい環境整備を行う。

(参考)

前年度決算額	58,415
--------	--------

評価結果	市からの情報の入手方法で、市報は84.9%と最も高いことから、今後も設置場所の拡充などを図る。
------	---

所属名	企画推進部 秘書課
-----	--------------

企024	項目名	市政広報費
------	-----	-------

主要な施策	市政広報費	ページ	24	所属名
-------	-------	-----	----	-----

年度	H25
----	-----

会計名	一般会計
款	総務費
項	総務管理費
目	文書広報費

(単位:千円)	
当初予算額	45,854

補正予算額	6,327
-------	-------

予算流・充用額	△ 54
---------	------

最終予算額	52,127
-------	--------

本年度決算額	51,534
--------	--------

区分	決算額
財源内訳	
国・県支出金	0
地方債	0
その他	0
一般財源	51,534
計	51,534

その他財源の内訳	
分担金	0
負担金	0
使用料	0
手数料	0
財産収入	0
寄付金	0
繰入金	0
諸収入	0
その他	0

事業の概要

【問合せ先】広報室 0857-20-3159
【9次総の施策体系】5301
【予算計上の経過】
予算事業別概要目次
当初予算・P42(企023)、8月補正予算・P8(企002)

【事業の概要】
市民が行政情報を容易に取得できるように、ケーブルテレビ、新聞、テレビ、ラジオ等様々なメディアで情報提供を行う。

【事業の成果】
キャスターを配属しケーブルテレビの広報番組をリニューアルするとともに、イオンモール鳥取北にインフォメーションを設置し広報番組の放映を開始した。
また、ラジオ番組の放送時間と構成を見直し、職員が出演し市政をわかりやすく市民へ伝える企画番組の放送を開始したほか、政策広報チラシの新聞折込を開始するなどした。

平成23年度 35,881千円 24年度 44,995千円
25年度 50,682千円 (広告料・委託料・印刷製本費のみ計上)

《平成23年度～25年度》

(1) ケーブルテレビ・・・広報番組：30分番組を1週間のべ20回、年50本放送他
(2) 新聞・・・記事下広告：年35段・対談記事広告：市長対談記事を年2回掲載
(3) テレビ・・・15秒CMを週3回放送、30分番組年1回、15分番組年1回放送
(4) ラジオ・・・
《23・24年度》FM放送スポットCM：10回/週放送
AM放送スポットCM：20秒CMを週3日、1回/日放送
《25年度》FM放送：3分CMを6回/週放送、5分間職員出演番組2本/月放送
AM放送：40秒CMを3回/週放送、2回/月30分番組

(5) 新聞折り込みチラシ・・・《平成25年度》5回発行

【今後の方向性】
広報効果を高めるため、ケーブルテレビ、新聞、テレビ、ラジオ等様々なメディアの連携を図るとともに、シティセールス活動の市民への浸透を図る。

(参考)

前年度決算額	45,419
--------	--------

評価結果	情報提供のあり方に関する提言等を踏まえ、今後も市民に身近でわかりやすい広報に努める。
------	--

企画推進部
秘書課

企025	項目名	鳥取市知名度アップ大作戦事業費
------	-----	-----------------

主要な施策	市政広報費	ページ	24
-------	-------	-----	----

所属名	企画推進部 秘書課
-----	--------------

年度	H25
----	-----

会計名	一般会計
款	総務費
項	総務管理費
目	文書広報費

(単位:千円)	
当初予算額	18,005

補正予算額	0
-------	---

予算流・充用額	40
---------	----

最終予算額	18,045
-------	--------

本年度決算額	17,493
--------	--------

区分	決算額
財源内訳	
国・県支出金	0
地方債	0
その他	0
一般財源	17,493
計	17,493

その他財源の内訳	
分担金	0
負担金	0
使用料	0
手数料	0
財産収入	0
寄付金	0
繰入金	0
諸収入	0
その他	0

<p>事業の概要</p> <p>【問合せ先】広報室 0857-20-3159 【9次総の施策体系】5301</p> <p>【予算計上の経過】 予算事業別概要目次 当初予算・P42 (企024)</p> <p>【事業の概要】 鳥取自動車道の開通に向け、平成20年度から戦略的広報を展開。平成23年度からは、媒体による情報発信として鳥取市情報発信業務を展開。平成25年度の公募プロポーザルでは、テレビ媒体を主とした業者選定を行い、費用対効果の高い情報発信に努めた。</p> <p>【事業の成果】 砂の美術館第6期展示は、過去最高となる来場者55万人を達成し、第1期展示から通算して200万人を突破した。砂の美術館が行った第6期展示での来場者アンケートでは、県外からの来場者が91%（前年度85%）となっており、知名度アップ大作戦による広報効果が表れている。 平成23年度 9,996千円 情報番組1本（関西圏）、イベントブース出展2回、新聞広告6本（関西圏）等 平成24年度 10,500千円 新聞広告17本（関西圏） 平成25年度 10,500千円 情報番組5本（全国・関西・中四国）、テレビCM108本（テレビ大阪） （委託料のみ計上）</p> <p>【今後の課題・方向性】 マスコミの本社が集まる首都圏に対して、本市の知名度を高め、観光客の増加、移住定住の推進、企業誘致等を図るため、シティセールスを強化する。</p>

(参考)	
前年度決算額	17,727

評価結果	26年度はシティセールス担当職員を配置し強化する方針
------	----------------------------

企026	項目名	市民活動促進事業補助金
------	-----	-------------

主要な施策	市民活動推進事業費	ページ	23	所属名
-------	-----------	-----	----	-----

年度	H25
----	-----

会計名	
一般会計	
款	総務費
項	総務管理費
目	一般管理費

(単位:千円)	
当初予算額	1,800

補正予算額	△ 180
-------	-------

予算流・充用額	0
---------	---

最終予算額	1,620
-------	-------

本年度決算額	1,586
--------	-------

区分	決算額
財源内訳	
国・県支出金	506
地方債	0
その他	0
一般財源	1,080
計	1,586

その他財源の内訳	
分担金	0
負担金	0
使用料	0
手数料	0
財産収入	0
寄付金	0
繰入金	0
諸収入	0
その他	0

事業の概要

【問合せ先】市民活動係 0857-20-3182
 【9次総の施策体系】0102
 【予算計上の経過】
 予算事業別概要目次
 当初予算・P48 (企029)

【事業の概要】
 市民まちづくり提案事業助成金制度（市民活動促進部門及び協働事業部門）による協働のまちづくりの推進
 [市民活動促進部門] 創造的な市民活動事業 補助率10/10 補助限度額10万円
 公益的な自主事業 補助率4/5 補助限度額20万円
 [協働事業部門] 行政提案型事業 補助率10/10 補助限度額40万円

【事業の成果】
 平成24年度より提案を開始した協働事業（行政提案）部門を継続して実施し、ふるさとを大切に作る心豊かな人づくりを図り、地域の課題解決に市民等と市が共に知恵を出し合いながら、市民が愛着と誇りを持てる住みよいまちづくり（協働のまちづくり）の推進に努めた。市民活動促進部門についても、地域の課題解決や活性化のために行う取り組みとなるよう事業を継続実施した。

平成23年度 1,845千円（市民活動促進部門9事業、協働事業部門2事業）
 平成24年度 1,460千円（市民活動促進部門8事業、協働事業部門1事業）
 平成25年度 1,586千円（市民活動促進部門5事業、協働事業部門2事業）

【今後の課題・方向性】
 市民活動を促進し、協働のまちづくりがより発展するよう、市民活動団体等のニーズを汲み取りつつ、効果を向上させる事業運営を目指し、必要な見直しを行う。

(参考)

前年度決算額	1,460
--------	-------

評価結果	市民活動を促進し、協働のまちづくりがより発展するよう、市民活動団体等のニーズを汲み取りつつ、効果を向上させる事業運営を目指し、必要な見直しを行う。
------	---

企画推進部
 協働推進課

企027	項目名	鳥取市自治連合会補助金
------	-----	-------------

主要な施策	地域振興費	ページ	26	所属名
-------	-------	-----	----	-----

年度	H25
----	-----

会計名	
一般会計	
款	総務費
項	総務管理費
目	諸費

(単位:千円)	
当初予算額	70,206

補正予算額	0
-------	---

予算流・充用額	0
---------	---

最終予算額	70,206
-------	--------

本年度決算額	70,206
--------	--------

区分	決算額
財源内訳	
国・県支出金	4,064
地方債	0
その他	1,797
一般財源	64,345
計	70,206

その他財源の内訳	
分担金	0
負担金	0
使用料	0
手数料	0
財産収入	0
寄付金	0
繰入金	1,797
諸収入	0
その他	0

事業の概要

【問合せ先】コミュニティ支援係 0857-20-3170
 【9次総の施策体系】2101
 【予算計上の経過】
 予算事業別概要目次
 当初予算・P48(企030)

【事業の概要】
 鳥取市自治連合会は住民組織の相互連絡、福利増進を進めることで市政発展に大きく寄与してきた。平成22年度より、均等割35,000円、世帯割700円の統一制度として活動費、市自治連合会の運営に係る経費(人件費を除く)の助成を行っている。

【事業の成果】
 住民自治の基本である鳥取市自治連合会の活動を支援することにより、市政運営を円滑に進めることができ、市行政にとって多大な効果をあげた。

- 平成23年度 活動補助金67,095千円(835町内会、54,100世帯)
 運営補助金 2,929千円(中四国自治会連絡協議会等参加、及び事務局運営費)
- 平成24年度 活動補助金66,822千円(834町内会、53,760世帯)
 運営補助金 3,171千円(岡山市連合町内会50周年記念大会等参加、及び事務局運営費)
- 平成25年度 活動補助金66,850千円(834町内会、53,800世帯)
 運営補助金 3,356千円(全自連川越大会等参加、及び事務局運営費)

【今後の課題・方向性】
 少子高齢化や、価値観の多様化・ライフスタイルの変化により、自治会活動に無関心な人が多くなっていることで、地域社会の弱体化が大きく懸念される。安心して豊かに暮らせるまちを目指して、みんなで力を出し合い問題解決に取り組むためにも、自治会の活動を継続して助成していく。

(参考)	
前年度決算額	69,993

評価結果	鳥取市自治連合会は市内約830町内会を束ねる組織であり、各家庭と行政をつなぐ重要なパイプ役を担っている。今や市民と行政の協働のまちづくりを進めるうえでも重要な役割を担っており、組織の運営や活動を継続的に支援していく事が重要である。
------	---

企画推進部
 協働推進課

企028	項目名	自治会活動活性化支援事業費
------	-----	---------------

主要な施策	地域振興費	ページ	26	所属名
-------	-------	-----	----	-----

年度	H25
----	-----

会計名	
一般会計	
款	総務費
項	総務管理費
目	諸費

(単位:千円)	
当初予算額	14,400

補正予算額	0
-------	---

予算流・充用額	0
---------	---

最終予算額	14,400
-------	--------

本年度決算額	14,187
--------	--------

区分	決算額
財源内訳	
国・県支出金	0
地方債	0
その他	0
一般財源	14,187
計	14,187

その他財源の内訳	
分担金	0
負担金	0
使用料	0
手数料	0
財産収入	0
寄付金	0
繰入金	0
諸収入	0
その他	0

事業の概要

【問合せ先】コミュニティ支援係 0857-20-3171
 【9次総の施策体系】2101
 【予算計上の経過】
 予算事業別概要目次
 当初予算・P49 (企031)

【事業の概要】
 本事業は、住民の自主性及び主体性に基づいた町内会等による地域活動を支援することにより、地域コミュニティの充実・強化を図り、住民と行政との協働のまちづくりの実現に資することを目的としている。

【事業の成果】
 コミュニティ活動支援事業
 単位町内会等が所有する設備等の軽微な修繕等
 単位町内会等が実施する住民の多数が参加する次の事業
 ・運動会等のスポーツ活動
 ・地域内の文化的な活動等
 ※補助率 3/4 限度額3万円 (平成21年度までは補助率1/2 限度額5万円)

平成23年度 12,869千円 (440事業)
 平成24年度 13,751千円 (469事業)
 平成25年度 14,187千円 (482事業)

【今後の課題・方向性】
 本事業は地域からの要望も高く、平成22年度より補助率、限度額の見直しを実施している。今後も引き続きコミュニティの充実強化を図り、より地域力向上の活動に活用していただけるよう見直しを図っていきたい。

(参考)	
前年度決算額	13,751

評価結果	市民が、安全で安心して暮らせるまちづくりとして、町内会組織の結束力の維持と活動の推進は大切なことと考えている。地域コミュニティの活性化を図り、住民と行政との協働のまちづくりが発展するよう、継続して事業を実施する。
------	--

企画推進部
 協働推進課

企029	項目名	コミュニティ支援事業費
------	-----	-------------

主要な施策	地域振興費	ページ	26	所属名
-------	-------	-----	----	-----

年度	H25
----	-----

会計名	一般会計
款	総務費
項	総務管理費
目	諸費

(単位:千円)	
当初予算額	29,858

補正予算額	△ 3,132
-------	---------

予算流・充用額	0
---------	---

最終予算額	26,726
-------	--------

本年度決算額	26,319
--------	--------

区分	決算額
財源内訳	
国・県支出金	7,332
地方債	0
その他	0
一般財源	18,987
計	26,319

その他財源の内訳	
分担金	0
負担金	0
使用料	0
手数料	0
財産収入	0
寄付金	0
繰入金	0
諸収入	0
その他	0

事業の概要

【問合せ先】コミュニティ支援係 0857-20-3171
 【9次総の施策体系】2101
 【予算計上の経過】
 予算事業別概要目次
 当初予算・P49 (企032)
 【事業の概要】
 鳥取市は、平成20年度より地域と行政が適切な協力関係で支え合う「市民と行政による協働のまちづくり」の実現を目指し、各種の取り組みを進めている。
 各地区公民館単位での地域コミュニティの充実・強化の取組を支援した。
 ○地域コミュニティ育成支援事業による財政支援

	H23	H24	H25
・まちづくり協議会運営助成事業 (補助率10/10 補助限度額5万円)	2,700千円 (55地区)	2,950千円 (60地区)	3,000千円 (60地区)
・地域コミュニティ計画作成支援事業 (補助率10/10 補助限度額10万円)	92千円 (1地区)	100千円 (2地区)	100千円 (1地区)
・協働のまちづくり助成事業 (補助率4/5 補助限度額40万円)	18,158千円 (52地区)	20,348千円 (52地区)	20,487千円 (52地区)
・協働のまちづくり特別支援事業 (補助率10/10 補助限度額80万円)	2,800千円 (4地区)	3,200千円 (4地区)	2,400千円 (3地区)

【事業の成果】
 地域の身近な課題解決に向けた地域力向上の取り組みを支援することにより、地域コミュニティの充実・強化、住民と行政との協働のまちづくりが図られ、具体的な活動を通して住民同士の絆が深まり、地域の活性化として効果が出てきている。

【今後の課題・方向性】
 まちづくり協議会の運営及び地域コミュニティ計画による地域の身近な課題解決に向けた地域力向上の取り組みを支援することにより、地域コミュニティの充実・強化を図り、住民と行政との協働のまちづくりの実現に資することを目的として支援を継続する。

(参考)

前年度決算額	26,968
--------	--------

評価結果	市民と行政による協働のまちづくりとして「まちづくり協議会」が策定された「コミュニティ計画」に基づく事業に対して、今後も着実に取り組みが進められるよう、引き続き人的・財政的支援を行っていく。
------	--

企030	項目名	町内集会所建設等補助金
------	-----	-------------

主要な施策	町内会集会所建設等補助金	ページ	25	所属名
-------	--------------	-----	----	-----

年度	H25
----	-----

会計名	
一般会計	
款	総務費
項	総務管理費
目	諸費

(単位:千円)	
当初予算額	19,883

補正予算額	△ 1,310
-------	---------

予算流・充用額	0
---------	---

最終予算額	18,573
-------	--------

本年度決算額	18,052
--------	--------

区分		決算額
財源内訳	国・県支出金	0
	地方債	0
	その他	0
	一般財源	18,052
計		18,052

その他財源の内訳	
分担金	0
負担金	0
使用料	0
手数料	0
財産収入	0
寄付金	0
繰入金	0
諸収入	0
その他	0

事業の概要

【問合せ先】コミュニティ支援係 0857-20-3171
 【9次総の施策体系】2101
 【予算計上の経過】
 予算事業別概要目次
 当初予算・P50(企033)

【事業の概要】
 集会所(町内会の集会所施設)については、自治会が自主的に建設(取得)している。本事業はコミュニティ活動の基盤となる集会所建設を支援するため、平成3年度から実施している。集会所の建築・改修等及び賃借料に対して、対象経費の1/3、上限1000万円の補助金を交付するものである。

【事業の成果】
 町内会のコミュニティの場である集会所の建設や改修に対して助成することにより、地域コミュニティの醸成を図ることで、地域の活性化を促進した。
 さらに平成20年度より集会所施設の賃借料に対しても補助金を交付し、集会所取得が困難な町内会であっても、コミュニティ活動拠点が確保されるよう、市として支援した。

平成23年度 7,350千円(新築0件、改築等20件、賃借2件、計22町内会)
 平成24年度 18,710千円(新築2件、改築等13件、賃借2件、計17町内会)
 平成25年度 18,052千円(新築2件、改築等14件、賃借2件、計18町内会)

【今後の課題・方向性】
 地域コミュニティの活動拠点を整備し、協働のまちづくりを推進するためにも今後も継続して支援していく必要がある。

(参考)	
前年度決算額	18,710

評価結果
 コミュニティ活動の基盤となる集会所の確保を支援することは、協働のまちづくりを推進する本市にとって重要な事業である。現在のニーズに合うよう制度を見直し、今後も対象となる経費(50万円以上)や設備等を見直しするなどして、引き続き支援を継続することが適当と考える。

企画推進部
 協働推進課

企031	項目名	地区公民館施設管理費
------	-----	------------

主要な施策	地区公民館施設管理費	ページ	47	所属名
-------	------------	-----	----	-----

年度	H25
----	-----

会計名	一般会計
款	教育費
項	社会教育費
目	公民館費

(単位:千円)	
当初予算額	103,257

補正予算額	△ 6,844
-------	---------

予算流・充用額	114
---------	-----

最終予算額	96,527
-------	--------

本年度決算額	95,235
--------	--------

区分	決算額
財源内訳	
国・県支出金	0
地方債	11,600
その他	2,096
一般財源	81,539
計	95,235

その他財源の内訳	
分担金	0
負担金	0
使用料	277
手数料	0
財産収入	0
寄付金	0
繰入金	0
諸収入	1,819
その他	0

事業の概要

【問合せ先】地区公民館係 0857-20-3172
 【9次総の施策体系】2101
 【予算計上の経過】
 予算事業別概要目次
 当初予算・P50(企034)

【事業の概要】
 地区公民館を良好に管理するとともに改善を図ることで、地域住民が気軽に集い生涯学習事業、コミュニティ活動が円滑に実施できる環境を整えることを目的としている。
 地区公民館は老朽化した施設が多くあり、また、トイレの男女別化やバリアフリー化の実施など利用者の要望に応える必要があるため、小規模な修繕に加えて大規模改修を行い地区公民館設備の改善を図るとともに、地域住民が安心して快適に利用できるよう施設の維持管理を行った。

【事業の成果】
 用瀬地区公民館トイレ男女別化改修工事、小規模修繕、OA機器借上料、光熱水費、電話料、消防設備点検等施設管理委託料などの施設改善・管理を行った。
 平成23年度 137,762千円(勝部地区公民館移転改修、大正地区公民館トイレ改修等)
 平成24年度 108,807千円(美保南、大村地区公民館トイレ改修等)

【今後の課題・方向性】
 今後とも、トイレの男女別化工事をはじめとして、より快適に安心してご利用いただけるよう施設の維持管理を計画的に行う。

(参考)	
前年度決算額	108,807

評価結果	今後とも、トイレの男女別化工事をはじめとして、より快適に安心してご利用いただけるよう施設の維持管理を計画的に行う。
------	---

企画推進部
 協働推進課

企032	項目名	地区公民館施設管理費(地域の元気臨時交付金活用事業費)
------	-----	-----------------------------

主要な施策	地区公民館施設管理費	ページ	47	所属名
-------	------------	-----	----	-----

年度	H25
----	-----

会計名	一般会計
款	教育費
項	社会教育費
目	公民館費

(単位:千円)	
当初予算額	28,546

補正予算額	△ 20,031
-------	----------

予算流・充用額	49
---------	----

最終予算額	8,564
-------	-------

本年度決算額	8,564
--------	-------

区分	決算額
財源内訳	
国・県支出金	6,812
地方債	0
その他	0
一般財源	1,752
計	8,564

その他財源の内訳	
分担金	0
負担金	0
使用料	0
手数料	0
財産収入	0
寄付金	0
繰入金	0
諸収入	0
その他	0

事業の概要

【問合せ先】地区公民館係 0857-20-3172
 【9次総の施策体系】2101
 【予算計上の経過】
 予算事業別概要目次
 当初予算・P51(企035)

【事業の概要】
 ①修立地区公民館：トイレ増築他改修の実施設計を行った。
 ②富桑地区公民館：屋外階段を設置した。
 ③明德地区公民館：地区公民館の駐車場を新設した。

【事業の成果】
 利用者の要望に応え、地域住民が快適に安心して利用できるよう地区公民館の施設改善を行い、生涯学習及び地域コミュニティの拠点施設として充実を図ることができた。

【今後の課題・方向性】
 今後とも、地区公民館をより快適に安心してご利用いただけるようトイレの男女別化改修など、施設の維持管理を行う。

(参考)	
前年度決算額	0

評価結果	生涯学習及び地域コミュニティの拠点施設として、引き続き地区公民館の施設改善を進めます。
------	---

企画推進部
協働推進課

企033	項目名	地区公民館新築事業費
------	-----	------------

主要な施策	地区公民館新築事業費	ページ	47	所属名
-------	------------	-----	----	-----

年度	H25
----	-----

会計名	
一般会計	
款	教育費
項	社会教育費
目	社会教育施設建設費

(単位:千円)	
当初予算額	49,528

補正予算額	△ 10,285
-------	----------

予算流・充用額	0
---------	---

最終予算額	39,243
-------	--------

本年度決算額	39,216
--------	--------

区分		決算額
財源内訳	国・県支出金	0
	地方債	37,000
	その他	0
	一般財源	2,216
計		39,216

その他財源の内訳	
分担金	0
負担金	0
使用料	0
手数料	0
財産収入	0
寄付金	0
繰入金	0
諸収入	0
その他	0

事業の概要

【問合せ先】地区公民館係 0857-20-3172
 【9次総の施策体系】2101
 【予算計上の経過】
 予算事業別概要目次
 当初予算・P51(企036)

【事業の概要】
 湖山地区公民館(鉄骨造2階建、延床面積451㎡)は、昭和50年3月建築で老朽化が進んでいる。また、地区の端に位置し、トイレは男女共用であり、1階に会議室がない状況である。このため多くの地区住民が集う生涯学習及び地域コミュニティの拠点施設として建て替えが急務となっている。地区公民館を移転新築することにより、現状の課題を解消し生涯学習及び地域コミュニティの拠点施設として充実を図ることができる。

【事業の成果】
 平成25年度は湖山地区公民館の移転先用地取得と新築に係る設計業務を行った。

平成23年度 129,825千円(国英地区公民館新築工事)
 平成24年度 41,385千円(国英地区公民館外構整備工事等)

【今後の課題・方向性】
 平成26年度は湖山地区公民館の建築、駐車場の整備工事及び備品購入を行う。引き続き計画的に、地区公民館の整備を進めていく。

(参考)	
前年度決算額	41,385

評価結果	引き続き、計画的に地区公民館の整備を進めていく。
------	--------------------------

企画推進部
 協働推進課

企034	項目名	市民相談費
------	-----	-------

主要な施策	市民相談費	ページ	23	所属名
-------	-------	-----	----	-----

年度	H25
----	-----

会計名	
一般会計	
款	総務費
項	総務管理費
目	一般管理費

(単位:千円)	
当初予算額	9,450

補正予算額	400
-------	-----

予算流・充用額	△ 1
---------	-----

最終予算額	9,849
-------	-------

本年度決算額	9,714
--------	-------

区分	決算額
財源内訳	
国・県支出金	0
地方債	0
その他	0
一般財源	9,714
計	9,714

その他財源の内訳	
分担金	0
負担金	0
使用料	0
手数料	0
財産収入	0
寄付金	0
繰入金	0
諸収入	0
その他	0

事業の概要

【問合せ先】市民総合相談課 0857-20-3158
【9次総の施策体系】0102
【予算計上の経過】
予算事業別概要目次
当初予算・P52(企037)
【事業の概要】
市民からの市政に関する問い合わせへの対応をはじめ、本庁舎総合案内所・駅南庁舎総合案内における案内業務、弁護士による無料法律相談などを行っている。
また、市の業務全般に関する問題解決に当たる窓口として、平成19年1月に「市民総合相談窓口」を設置した。
【事業の成果】
市民が抱える問題や行政に対する苦情などについて問題解決の助言をするとともに、無料法律相談の開設などにより、安心できる市民生活の確保が図られた。
また、市民総合相談窓口では関係課と連携した相談対応を行っており、市民相談機能の充実が図られた。
<<市民相談>>
平成23年度 901件、平成24年度 714件、平成25年度 784件
<<総合案内>>
平成23年度 43,985件(本庁舎18,999件、駅南庁舎24,986件)
平成24年度 47,918件(本庁舎17,662件、駅南庁舎30,256件)
平成25年度 47,789件(本庁舎16,308件、駅南庁舎31,481件)
<<無料法律相談>>
平成23年度 114名、平成24年度 116名、平成25年度 116名
【今後の課題・方向性】
市民からの市政に関する問い合わせへの対応や、市民が抱える問題や行政に対する苦情などについて問題解決の助言をすることは必要であり、安心安全な市民生活の確保につながるため、今後も継続して事業を実施する。

(参考)	
前年度決算額	7,678

評価結果	市民が抱える問題や行政に対する苦情などについて問題解決の助言を行ったり、相談内容に応じて関係課と連携した対応を行ったり、弁護士による無料法律相談などを行ったりすることにより、安心安全な市民生活の確保につながっている。このため、今後も継続して事業を実施する。
------	--

企画推進部
市民総合相談課

企035	項目名	くらし110番相談事業費
------	-----	--------------

主要な施策	市民相談費	ページ	23	所属名
-------	-------	-----	----	-----

年度	H25
----	-----

会計名	
一般会計	
款	総務費
項	総務管理費
目	一般管理費

(単位:千円)	
当初予算額	3,280

補正予算額	0
-------	---

予算流・充用額	2
---------	---

最終予算額	3,282
-------	-------

本年度決算額	3,269
--------	-------

区分	決算額
財源内訳	
国・県支出金	0
地方債	0
その他	0
一般財源	3,269
計	3,269

その他財源の内訳	
分担金	0
負担金	0
使用料	0
手数料	0
財産収入	0
寄付金	0
繰入金	0
諸収入	0
その他	0

事業の概要

【問合せ先】市民総合相談課 0857-20-3158
【9次総施策体系】3303
【予算計上の経過】
予算事業別概要目次
当初予算・P52(企038)
【事業の概要】
平成16年5月に市民生活におけるトラブルなどの相談窓口として、くらし110番相談室を本庁舎に設置し、平成18年1月には、駅南庁舎にも設置した(毎週月・金の午後1時～5時)。
平成21年5月、「市民総合相談センター」の開設と同時に、常設窓口を本庁舎から駅南庁舎に移転した(本庁舎:毎週月・金の午後1時～5時)。
市民生活におけるトラブル等の相談窓口としてのニーズは高く、年間800件以上の利用実績がある。
【事業の成果】
全ての相談に対し問題の解決方法を一緒に考えたり、解決に繋がる窓口を紹介したりして、市民の安心安全な日常生活の確保が図られた。
<駅南庁舎>
面談・電話相談 平日 8時30分～17時15分
<本庁舎>
面談・電話相談 月・金 13時00分～17時00分
<携帯電話による相談>
電話相談 平日 17時15分～22時00分
閉庁日 8時30分～22時00分
<<実績>>
平成23年度 839件, 平成24年度 937件, 平成25年度 975件
【今後の課題・方向性】
市民生活におけるトラブルを少しでも解決することで市民の安心安全な日常生活の確保につながるため、今後も継続して事業を実施する。

(参考)

前年度決算額	3,347
--------	-------

評価結果	相続問題や離婚問題など市民生活におけるトラブルなどの相談を受け、問題の解決方法の助言や解決につながる窓口の紹介など行っており、市民の安心安全な日常生活の確保につながっている。このため、今後も継続して事業を実施する。
------	---

企画推進部
市民総合相談課

企036	項目名	消費生活対策費
------	-----	---------

主要な施策	消費生活対策費	ページ	23	所属名
-------	---------	-----	----	-----

年度	H25
----	-----

会計名	
一般会計	
款	総務費
項	総務管理費
目	一般管理費

(単位:千円)	
当初予算額	9,432

補正予算額	95
-------	----

予算流・充用額	0
---------	---

最終予算額	9,527
-------	-------

本年度決算額	9,151
--------	-------

区分	決算額
財源内訳	
国・県支出金	4,897
地方債	0
その他	101
一般財源	4,153
計	9,151

その他財源の内訳	
分担金	0
負担金	0
使用料	0
手数料	0
財産収入	0
寄付金	0
繰入金	0
諸収入	101
その他	0

事業の概要

【問合せ先】市民総合相談課（市民総合相談センター） 0857-20-3861
 【9次総の施策体系】3303
 【予算計上の経過】
 予算事業別概要目次
 当初予算・P53（企039）
 【事業の概要】
 平成21年度に策定した「鳥取市消費者行政基本方針」に基づき、市民が安心して安全で豊かな消費生活を営むことができるよう「相談体制の充実」「消費者啓発事業」をはじめとした消費者施策を展開する。
 【事業の成果】
 消費生活に関するトラブルや被害などの相談を受け付け、被害の救済が図られた。
 ≪事業の内容・実績≫
 (1) 相談事業
 ・消費生活相談の受付、助言・あっせん、弁護士会と連携した相談対応
 (2) 啓発事業
 ・市公式ウェブサイト、市報、啓発パネル等による消費者情報の提供
 ・悪質商法などに関する「消費者啓発出前講座」の実施
 (3) 被害拡大（未然防止）防止事業
 ・庁内各課及び関係機関との情報連携の強化し、消費者被害の拡大防止や未然防止の積極的な対応
 ≪相談件数≫
 平成23年度 702件
 平成24年度 711件
 平成25年度 712件
 ≪センター関与被害救済額≫
 26,772千円（被害把握金額 47,147千円）
 10,185千円（被害把握金額 104,611千円）
 25,890千円（被害把握金額 69,761千円）
 （※上記救済額には多重債務による救済額を含まない）
 【今後の課題・方向性】
 近年、特殊詐欺や悪質商法などの消費者トラブルや被害が増加しているため、市民の消費生活の安心安全を確保する必要があり、今後も継続して事業を実施する。

(参考)	
前年度決算額	11,806

評価結果	消費生活相談の受付、助言・あっせんなどの相談事業や消費者啓発出前講座の実施など消費者啓発の推進を図ることで、消費者被害の拡大防止や未然防止につながっている。このため、今後も継続して事業を実施する。
------	--

企画推進部
市民総合相談課

企037	項目名	文化芸術推進事業補助金
------	-----	-------------

主要な施策	文化振興費	ページ	46
-------	-------	-----	----

所属名	企画推進部 文化芸術推進課
-----	------------------

年度	H25
----	-----

事業の概要

会計名	一般会計
款	教育費
項	社会教育費
目	文化振興費

【問合せ先】文化芸術推進課 0857-20-3226
 【9次総の施策体系】1201
 【予算計上の経過】
 予算事業別概要目次
 当初予算・P54（企042） 6月補正・P7（企004）
 8月補正・P10（企005）

(単位:千円)

当初予算額	14,148
補正予算額	365

【事業の概要】
 文化芸術団体が実施する文化芸術に関する事業に必要な経費の一部を補助することにより、自主的な文化芸術活動の促進を図り、地域に根差した創造的な文化芸術の振興と心豊かな市民生活の形成に寄与する。

予算流・充用額	0
---------	---

【事業の成果】

・用瀬町月を愛でる会補助	120,000円	・用瀬美術展開催補助	45,000円
・市民文化祭開催補助	1,800,000円	・放哉の会開催事業補助	500,000円
・市民音楽祭開催補助	400,000円	・シルエット劇場開催補助	1,179,696円
・鳥取市文団協結成50周年	2,000,000円	・貝殻節全国大会開催補助	200,000円
・日本のふるさと音楽祭	1,566,579円	・県民による第九鳥取公演	900,000円
・鳥の劇場祭6開催補助	1,000,000円	・BeSeTo演劇祭鳥取開催補助	750,000円
・地域伝統芸能保存補助	1,033,000円	・大菊花展開催補助	280,000円
・吉備真備杯囲碁大会	50,000円	・海外公演等開催補助	400,000円
・とっってもアート開催補助	50,000円	・夢街・水辺のコンサート	700,000円
・国民文化祭参加補助	715,000円	・鳥取JAZZ「JAZZ×アート展」	200,000円
・アートスタート活動補助	386,016円		

最終予算額	14,513
-------	--------

その他財源の内訳	
分担金	0
負担金	0
使用料	0
手数料	0
財産収入	0
寄付金	0
繰入金	0
諸収入	0
その他	0

本年度決算額	14,298
--------	--------

区分	決算額
財源内訳	
国・県支出金	3,215
地方債	0
その他	0
一般財源	11,083
計	14,298

【今後の課題・方向性】
 市民が自主的に行う文化芸術活動を支援し、地域に根差した文化芸術の振興を図るため今後も同水準の事業を継続実施する。

(参考)

前年度決算額	11,410
--------	--------

評価結果	市民が自主的に行う文化芸術活動を支援し、地域に根差した文化芸術の振興を図るため、今後も同水準の事業を継続実施する。
------	---

企038	項目名	マンガを活かした文化振興事業費
------	-----	-----------------

主要な施策	文化振興費	ページ	46
-------	-------	-----	----

所属名	企画推進部 文化芸術推進課
-----	------------------

年度	H25
----	-----

事業の概要	
-------	--

会計名	
一般会計	
款	教育費
項	社会教育費
目	文化振興費

【問合せ先】文化芸術推進課 0857-20-3226

【9次総の施策体系】1201

【予算計上の経過】
予算事業別概要目次
当初予算・P55（企043）

【事業の概要】
鳥取市を舞台とするストーリーを全国から公募し、126作品の応募があり、最優秀賞1、優秀賞3、特別賞4を選定。鳥取出身の漫画家を中心に作画を依頼。12月に300ページからなる『ストーリー漫画とっとり』が完成。
12/14より鳥取県内各書店での販売を開始するとともに、全国販売のための通信販売を実施した。（販売実績：1,520部）

【事業の成果】
発売以来、新しい企画による地域に根差した本格的漫画短編集として反響を呼んだ。しっかりしたストーリーを持った鳥取を舞台とした新しい漫画の誕生と鳥取ゆかりの漫画家の全国への発信という点で「まんが王国とっとり」の取り組みにふさわしい意義深い事業であった。

平成23年度 5,852千円（谷ロジロー原画展・朗読劇「父の暦」）
平成24年度 14,353千円（ストーリー公募によるマンガ制作事業・鳥取市マンガフォーラム・谷ロジロー原画展・遙かな町へフランス語版上映）
平成25年度 3,712千円（ストーリー公募によるマンガ制作事業）

【今後の課題・方向性】
書籍として出版したことにより一定の成果をあげることが出来たため休止する。

(単位:千円)

当初予算額	3,860
補正予算額	△102
予算流・充用額	7

最終予算額	3,765
本年度決算額	3,712

その他財源の内訳	
分担金	0
負担金	0
使用料	0
手数料	0
財産収入	0
寄付金	0
繰入金	2,135
諸収入	0
その他	0

区分	決算額	
財源内訳	国・県支出金	461
	地方債	0
	その他	2,135
	一般財源	1,116
計	3,712	

(参考)

前年度決算額	14,353
--------	--------

評価結果	書籍として出版したことにより一定の成果をあげることが出来たため休止する。
------	--------------------------------------

企039	項目名	大伴家持和歌CD制作事業費
------	-----	---------------

主要な施策	文化振興費	ページ	46
-------	-------	-----	----

所属名	企画推進部 文化芸術推進課
-----	------------------

年度	H25
----	-----

事業の概要

会計名	一般会計
款	教育費
項	社会教育費
目	文化振興費

【問合せ先】文化芸術推進課 0857-20-3226

【9次総の施策体系】1201

【予算計上の経過】
予算事業別概要目次
当初予算・P55（企044）

【事業の概要】
因幡万葉の歌「新しき年の始の初春の今日降る雪のいや重け吉事」に新しく作曲し、万葉のふるさと鳥取を広く全国にアピールするとともに、文化振興・まちづくりに活かしていく。

【事業の成果】
「千の風になって」のほか、全国的な大ヒット作を多数作曲し、万葉集を歌詞とする作曲でも実績のある新井満氏に作曲を依頼。平成25年10月の因幡万葉フェスティバルにおいて新作発表を行い、平成25年12月にCD販売を開始した。

CDの概要
収録曲：大伴家持「あらたしき」複数バージョン
作成枚数：5,000枚 販売価格：500円
販売日：平成25年12月14日
無料配布：1,008枚（新井満氏PR用含む）
販売実績：786枚

【今後の課題・方向性】
目的を達成し、一定の成果をあげたため廃止する。

(単位:千円)

当初予算額	3,500
補正予算額	△279

予算流・充用額	0
---------	---

最終予算額	3,221
-------	-------

その他財源の内訳	
分担金	0
負担金	0
使用料	0
手数料	0
財産収入	0
寄付金	0
繰入金	0
諸収入	369
その他	0

本年度決算額	3,159
--------	-------

区分	決算額
財源内訳	
国・県支出金	890
地方債	0
その他	369
一般財源	1,900
計	3,159

(参考)

前年度決算額	0
--------	---

評価結果	目的を達成し、一定の成果をあげたため廃止する。
------	-------------------------

企040	項目名	市民美術展開催費
------	-----	----------

主要な施策	市民美術展開催費	ページ	46	所属名
-------	----------	-----	----	-----

年度	H25
----	-----

会計名	
一般会計	
款	教育費
項	社会教育費
目	文化振興費

(単位:千円)	
当初予算額	2,782

補正予算額	0
-------	---

予算流・充用額	0
---------	---

最終予算額	2,782
-------	-------

本年度決算額	2,782
--------	-------

区分	決算額
財源内訳	
国・県支出金	887
地方債	0
その他	0
一般財源	1,895
計	2,782

その他財源の内訳	
分担金	0
負担金	0
使用料	0
手数料	0
財産収入	0
寄付金	0
繰入金	0
諸収入	0
その他	0

事業の概要

【問合せ先】文化芸術推進課 0857-20-3226
【9次総の施策体系】1201
【予算計上の経過】
予算事業別概要目次
当初予算・P56(企045)
【事業の概要】
市展は、幅広い市民の創作意欲の啓発を促し、よりすぐれた作品を展示することにより、鑑賞の場を提供することを目的としている。その運営・実施・審査にあたっては、専門的知識を要するため各部門の代表的作家で組織する「鳥取市民美術展運営委員会」に事業委託を行っている。これにより、事業が円滑に遂行できるとともに、市民芸術のレベル向上、活性化並びに芸術文化活動参加者の拡大に寄与し、本市の文化発展に資する。

【事業の成果】

- ・委託先 鳥取市民美術展運営委員会
- ・日時 平成25年6月23日～6月30日(本展・企画展)
平成25年7月13日～7月21日(巡回展)
- ・場所 鳥取県立博物館(本展)、ギャラリーそら(企画展)
あおや郷土館(巡回展)
- ・部門 日本画、洋画、書道、工芸、版画、彫刻、写真、デザイン、企画展
- ・出品資格 本市在住又は勤務者及び県東部在住者

平成23年度 7,404千円(出品総数469点・4,002人入場【50周年記念事業実施】)
平成24年度 2,038千円(出品総数398点・2,465人入場)
平成25年度 2,782千円(出品総数438点・4,523人入場)

【今後の課題・方向性】
これまで市民美術展は審査と運営を同じ組織で実施していたが、審査と運営の組織をわける改革を行い、運営に学識経験者を入れることにより、作り手以外の視点が運営に反映されるようになった。今後は、審査員・無鑑査作家のあり方と企画展の継続、出品手続き等のICT化及び効果的な広報について検討していく必要がある。

(参考)

前年度決算額	2,038
--------	-------

評価結果	これまで市民美術展は審査と運営を同じ組織で実施していたが、審査と運営の組織をわける改革を行い、運営に学識経験者を入れることにより、作り手以外の視点が運営に反映されるようになった。今後は、審査員・無鑑査作家のあり方と企画展の継続、出品手続き等の情報通信技術の活用及び効果的な広報について検討していく必要がある。
------	--

企画推進部
文化芸術推進課

企041	項目名	エンジン02鳥取開催事業費
------	-----	---------------

主要な施策	エンジン02鳥取開催事業費	ページ	46
-------	---------------	-----	----

所属名	企画推進部 文化芸術推進課
-----	------------------

年度	H25
----	-----

事業の概要

会計名	一般会計
款	教育費
項	社会教育費
目	文化振興費

【問合せ先】文化芸術推進課 0857-20-3226

【9次総の施策体系】1201

【予算計上の経過】
予算事業別概要目次
当初予算・P56（企046）

【事業の概要】
「鳥取グルメ三昧。～新しい鳥取ブランドを捜せ！～」をテーマに、講座、夜楽、メインフォーラム、屋台村を開催した。
期間：平成25年8月24日（土）25日（日）の2日間
場所：とりぎん文化会館、鳥取駅前太平線「バード・ハット」ほか
講師：エンジン01会員講師等9名、地元講師20名

【事業の成果】
鳥取商工会議所青年部、鳥取青年会議所など5つの青年経済団体が中心となり運営することにより5,040人の参加者を集め、まちに賑わいを創出するとともに地域の活性化につなげることができた。
講座（7講座）・メインフォーラム（2講座）を通じて「食」について考え、夜楽（6店舗）・屋台村（24店舗）で「鳥取の食」を体験することにより、豊かな自然と風土に培われた鳥取の食資源を県内外の方に認識していただいた。

【今後の課題・方向性】
鳥取の食を通じて文化振興及び地域の活性化につなげることができ、事業の目的を達成したことから事業廃止する。

(単位:千円)

当初予算額	5,500
補正予算額	0
予算流・充用額	0

最終予算額	5,500
本年度決算額	5,484

その他財源の内訳	
分担金	0
負担金	0
使用料	0
手数料	0
財産収入	0
寄付金	0
繰入金	0
諸収入	0
その他	0

区分	決算額
財源内訳	
国・県支出金	0
地方債	0
その他	0
一般財源	5,484
計	5,484

(参考)

前年度決算額	0
--------	---

評価結果	鳥取の食を通じて文化振興及び地域の活性化につなげることができ、事業の目的を達成したことから事業廃止する。
------	--